

# 織姫山の麓から

法玄寺報  
第34号  
平成30年夏

## 特集 鷹匠が来た

### 鷹匠の歴史と技

去る3月31日の日曜日の午後、鷹匠をお招きして鷹の飛翔を上演してもらいました。

お呼びしたのは千葉県旭市にあるアルティメット・アニマル・シティ(UAC)の鷹匠、パンク町田の名で知られる町田英文さんとフォーサイス有馬さん、それにマネージャーの二階堂貴之さんの3人です。町田さんはテレビなどにも時々登場する日本を代表する鷹匠であるとともに、動物博士として知られ「むつごろう」の愛称で知られた畑正憲さんの後継者とも言われています。

平安時代を起源とする鷹匠ですが、戦国時代には織田信長に仕えた吉田流、徳川時代には諏訪流が隆盛になりました。明治になると鷹匠は宮内庁の管轄になり、二つの流派が統一されました。宮内庁が担当したことからも、鷹匠がいかに高貴な伝統であったかが分かります。

このような伝統があるため、町田さんは江戸時代の鷹匠の装束、フォーサイスさんは平安時代の装束に身を包み、境内に現れました。最初に鷹匠の歴史や鷹の習性など

を話しました。次に実際に鷹を境内に飛ばし、鷹匠の技を披露しました。

日本では、鷹の捕獲や飼育が禁止されているため、アメリカからロシアカノスリという鷹の雛を輸入して飼育し、訓練しています。今回演技した鷹はファビ丸という名の雄で、間もなく3歳になります。



▲鷹の習性と鷹匠の歴史を説明する町田英文さんと鷹を手に留ませるフォーサイス有馬さん

## 鷹の飛翔、200人の観衆を魅了

テレビでしか見たことのない鷹匠の演技が見られるとあって、檀家だけでなく一般の市民の方々が集まり、境内は200人の観衆で満たされました。

境内の中央にベンチを並べた壇を作り、まず住職が壇上から鷹匠を呼んだ経緯を説明しました。ヒヨドリが庭を荒らすので、対応を考えるためインターネットを見ていたら、駅での鳩の糞害に悩まされていた金沢では、鷹匠を使って鳩を追い払ったことを知り、そこで鷹匠を呼ぶことを思いついたことを話しました。

それから鷹匠の実演です。

まず、二人の鷹匠の間でタカを飛ばしました。伝統的な鷹匠の衣装を着た町田さんとフォーサイスさんの間をファビ丸は命じるままに飛び、観衆は訓練されたタカに驚きました。次に一人の鷹匠と他の場所との間の飛翔を見せました。フォー



▲タカを飛ばす、平安時代の装束をしたフォーサイス有馬さん

サイスさんがタカを飛ばすと、ファビ丸は境内の木々や本堂や山門に留まり、合図があるとまたフォーサイスさんの元に戻ります。頭上を飛ぶタカの姿に、観衆は歓声を上げました。私も、タカは高い空を飛ぶと思っていたので、目の前をタカが飛び、羽が切る風を感じることができたのに驚きました。

最後は、多くの観衆がタカを留めたフォーサイスさんの周りに集まり、デジカメやスマホで写真を撮っていました。ファビ丸と名付けられたタカはよく訓練されており、子供が羽を触っても大人しくしていました。子供達をはじめ集まった人達にとってよい記念になったと思います。

町田さんは、ワシ、タカ、フクロウなど50羽の猛禽を飼育しています。しかしこのようなパフォーマンスに使えるタカは、2羽だけだそうです。他の猛禽は、飛行場でバードストライクを避けるため鳥を追い払うために利用されたり、テレビでタカが飛ぶシーンに使われたりします。現代でも鷹匠が活躍していることが分かりました。



▲多くの方がデジカメやスマホでタカや鷹匠の写真を撮っていました



## 足利灯り物語のライトアップ

ゴールデンウィークの始まりの4月28日(土)から30日(月)まで、「足利灯り物語」として織姫神社と足利学校がライトアップされました。この「足利灯り物語」の一環として、足利市の観光振興課より当山もローソクでライトアップしてほしいとの要望がありました。そこで、ローソクの職員との協力を得て境内をライトアップしました。市長や県の観光課の職員も見学に訪れました。



▲足利灯り物語で境内をローソクでライトアップしました

## 熊本地震義捐金

平成28年春以来、大広間の玄関には熊本地震義捐募金箱を設置しています。今回も皆様からの浄財を今年3月末、熊本県に送りました。

今回の送金額 81,173円  
 これまでの集計送金額 183,679円



### A. 管理費の会計報告

収入	553/574家	7,687,000円
支出		5,343,853円
内訳	庭園管理費	1,409,040円
	墓地管理費	1,817,860円
	清掃委託費	1,442,920円
	営繕費	465,680円
	備品消耗品費	77,538円
	通信費	129,815円
差額		2,344,147円
臨時支出	倒木、伐採費	10,390,280円
繰越額		▲ 8,046,133円

\* 倒木と伐採の費用で生じた赤字については、今後管理費で充当していく。

### B. 護持会費の会計報告

収入	559/580家	1,686,000円
支出	繰越赤字額	1,740,261円
差額		▲ 54,261円

\* 今後護持会費を積み立て、整備事業で行えなかった工事を行う。

## 平成二十九年度の会計報告

なお、今回は大口の寄付が2件ありました。  
 ・西小学校宇津木金造先生クラス  
 同窓会の残金 18,000円  
 (飯田純子さんを通して)  
 ・千灯供養の際に演奏して頂いたネオクレイトン・アンサンブルより 20,000円



昨年度の管理費と護持会費の決算報告をします。昨年度は、お盆の翌日大木が倒れ、さらに倒れそうな木を切つたため大幅な赤字となりました。

# 千灯供養と 能の夕べ

恒例の千灯供養と百万遍修行を、今年も下記のように行います。例年、百万遍修行の後にコンサートを行ってききましたが、今年は趣向を変えて能の舞を行います。能を舞うのは、宝生流の能楽師の和久莊太郎さんで、笛と鼓も加わります。

## 日時

10月7日(日)

6時 千灯供養

6時半 百万遍修行

7時 能の夕べ

## 【出演】

和久莊太郎さん他、  
鼓、笛

## 場所

法玄寺 境内と本堂

## 会費

無料で、どなたでも  
ご覧いただけます。

## 駐車場

山門前の駐車場  
両毛新聞社横駐車場  
山門前の市営駐車場  
(有料)  
旧西小学校駐車場  
《境内には駐車できません》

## 和久莊太郎さんの紹介

一九七四年生まれ。東京藝術大学邦楽科にて宝生流能楽を専攻して卒業。二〇〇五年宝生流十九世より許可を受け独立、湧宝会ゆうほうかいを発足させる。公益社団法人能楽協会正会員。



▶ 敦盛を舞う和久莊太郎さん